

海外安全対策情報（令和２年度第２四半期）

１ 社会・治安情勢

パラナ州公安局発表によるクリチバ市の２０１８年の殺人件数は３１７件で、件数、殺人率共に依然として高い数値で推移している。２０１８年クリチバ大都市圏での殺人件数は７６５件、１０万人あたりに換算すると２３．３件、世界保健機構が許容範囲としている殺人件数（１０万人当たり１０件）の２倍強。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (１) クリチバ市及び大都市圏では近年、誘拐、ＡＴＭ爆破強盗、携帯電話販売店や薬局店、レストラン及び住居を狙った武装強盗、運転中及び停車中を狙った車両強盗、武装集団による長距離バス及び路線バス内強盗が多発している。時間帯、場所を問わず銃器を使用した犯罪が増加しており、十分な注意が必要である。渡航情報（危険情報）については、パラナ州クリチバ大都市圏は「十分注意してください」を継続中。
- (２) パラナ州西部に面する隣国との国境地帯（特にパラグアイ）からは頻繁に大麻等の麻薬類及び銃器類の密輸が行われており、軍警察による押収量は増加する一方である。近年、パラナ州は麻薬の搬入ルートのみならず麻薬消費地域となっており、麻薬絡みの犯罪も増加傾向にある。

３ 犯罪事例（７月～９月）

- (１) ７月４日（土）１１時頃、クリチバ市クリストレイ地区で、サイクリングをしていたカップルがナイフと拳銃を所持した３人組の男性に自転車を強奪された。翌日の７月５日（日）朝、同じ場所で同じ犯人３人組に、サイクリングをしていた男性２人が同じ手口で自転車を強奪された。
- (２) ７月９日（木）早朝、クリチバ市ルイバルポーザ公園付近で、バスの運転手がナイフを持った男に襲われた。被害車男性は同僚に助けられ、犯人は駆けつけた警察官に逮捕された。被害者男性は仕事を終えバスの車庫に戻ってきたところ、ナイフを持った男性が現れ財布、時計、携帯電話を奪われた。その後被害車と犯人はもみ合いになり被害車は首を数カ所負傷した。
- (３) ７月２２日（水）夜間、パラナ州フォス・ド・イグアス市でパラグアイ海軍とブラジルの警察は密輸業者と銃撃戦となった。密輸業者はパラナ川のパラグアイ側からブラジル側へ渡ろうとしており銃撃戦となったが、密輸業者は逮捕されることなくブラジル側へ逃走した。この地域では麻薬、武器等が頻繁に密輸されており、警察との銃撃戦も珍しくはない。先日はパラグアイの軍人が頭に被弾し死亡した。

- (4) 8月12日(水)午後、クリチバ市バテル地区のクリスタルショッピングセンター前で、バイクを運転していた拳銃を所持していた男が、車を運転していた被害者高齢男性から腕時計を奪おうとしたが、被害者男性は抵抗した。犯人は車に向け発砲し、助手席に乗車していた高齢婦人の足に命中。犯人は腕時計を奪い逃走した。
- (5) 8月31日(月)、クリチバ市セントロ地区で、22歳の男性が窃盗事件の容疑者として逮捕された。この男性の手口はクレイジーホースと呼ばれる手口で、女性を狙って携帯電話を奪い逃走するというもの。最近ではセントロ地区で多発しており、2人組でリュックサックを背負った女性からリュックサックを奪い、逃走中に中の金目の物だけを選びリュックサックは捨てるといった手口も多発している。